

池田で楽しむまちなかプラン **五社参り**

池田にはたくさんの神社がありますが、そのうち医家神社、杉尾神社、諏訪神社、八幡神社、丸山神社（50音順）を参拝することが一般的であり、これを五社参りと言っています。

地域によっては3つの神社に参拝する「三社参り」や、7つの神社に参拝する「七社参り」を行う地域もあります。いずれも奇数でなければいけないという俗信から行われるようになったものです。

池田は昔から刻みたばこで栄え、また商業の中心地として周辺の村々から買い物客が来訪する街でした。江戸時代から町人が住んだ「本町」を中心に、東西に延びる「伊予街道」と吉野川の水運によって商業活動が活発に行われていました。大正3年（1914）に鉄道が徳島から池田まで延びたことで水運は鉄道へと変わっていきましたが、近代交通時代となると池田が四国4県の中心地となり、香川・愛媛・高知への連絡中継点として、より一層発展しました。

このような歴史的背景をもつ池田には、神社仏閣も多く、それらの宗教施設を支える経済基盤と神仏を敬う気風があったからこそ、小さな街ながら「五社参り」が永く続けられてきたわけです。

招福
神様を敬い、心を預け、お願いをし、ご利益をいただく。5つの神社を参拝することによって幸運が訪れることを願うためにも、ご参拝くださる皆様に福運と平安が得られますようご案内申し上げます。

もっと知りたい!
←こちらのリンクに、各神社の説明が詳しく掲載されています。



諏訪神社
徳島県三好市池田町ウエノ 2907-3

祭神は「建御名方神」で、例祭は10月18日であるが、近年は4月第1日曜日にも行い、10月には神輿の渡御と巡幸が行われ、大晦日に除夜祭を行う。由緒沿革に、中世13世紀に阿波の守護になった小笠原氏が生国の信濃から諏訪大社の分霊を勧請して大西池田城の守護神として祀ったとされる。



医家神社
徳島県三好市池田町マチ 2287

祭神は「大国主神」と「少彦名神」。例祭は10月17日であり併せて神輿の渡御と稚児行列が行われる。毎月1日が「月次祭」。元旦祭、夏祭り、大晦日には除夜祭が行われる。医家神社はよく「イゲジンジャ」と言われるが、正しくは「イケ」と濁らざう。



八幡神社
徳島県三好市池田町シンヤマ 3582

祭神は「品陀和気命」で、例祭は10月13日だが開催を易くするため10月第2日曜日に行っている。1月の「百射手祭」、4月の春祭り、10月の例祭には神輿の渡御と巡幸、11月の新嘗祭、12月の大祓の祭礼がある。武家の神様で弓矢の神として尊崇されたことから「百射手祭」が由縁となっている。



杉尾神社
徳島県三好市池田町ハヤシ 1264

祭神は「事代主神」で、例祭は10月17日である。祭礼はほかに元旦祭、大祓、夏祭り。例祭には神輿の渡御と巡幸があり、新嘗祭、大祓がある。ふつう「スギオジンジャ」と呼ばれるが、正式には「スギノオジンジャ」と言う。



丸山神社
徳島県三好市池田町ウエノ 2790

祭神は「速須佐之男神」で、神仏習合では「牛頭天王」といわれた。例祭は10月7日だが体育の日の前後の土曜と日曜日に移行して、ダンジリと神輿の渡御と巡幸が行われる。境内には病氣平癒を祈願する撫牛が祀られている。7月の夏祭りには2019年まで火花が打ち上げられていた。

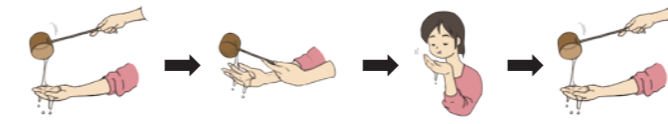
参拝の心得と作法

鳥居の先は聖域

神社の象徴、鳥居は“聖と俗”との区切りを示す「結界」という意味で、鳥居をくぐると“神域”であることを心得て、手前で一礼してからくぐります。また境内から出るときにも、社殿に向き直って立ち止まり、一礼するのが作法として適っています。

浄め

手水舎では、まず右手で柄杓を持ち、水盤の水を汲んで左手にかけて浄めます。次に柄杓を持ち替えて右手を同様に浄めます。再び右手に持ち、左手のひらに水を受けて口をすすぎ（この時にブクブクさせず含んでから出すだけ）、また水を左手にかけて浄めが終わります。最後に柄杓に水を汲んで、そのまま立てて流してから元の位置に置きます。



賽銭

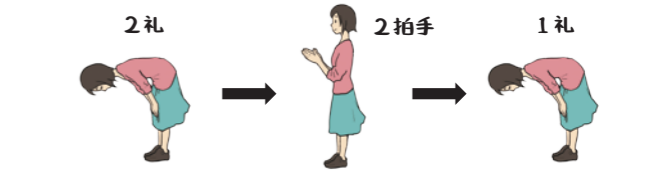
お賽銭は本来、祈願成就のお礼として神様に奉る（お供えする）「賽物」の銭＝お金という意味をもっています。神様に参詣して奉るお賽銭は、手持ちの範囲であれ、奮発であれ、お心がけしだいにお供えてください。

参道

鳥居から拝殿に向かう境内の参道は“神様の通る道”と言われる。参道の中央は避けて進むことで神様に対する敬意を表し、声高に話さず礼節をもって心静かに端を歩みましょう。また中央を横切る時には軽く頭を下げながら通ることで敬意を表します。

拝礼

拝殿前では帽子などの被り物を取り、“2礼2拍手1礼”の作法で拝礼します。「敬礼」という深いお辞儀を2回繰り返して、次に両手を胸の高さに合わせ、「拍手」は右手を少しずらすように手前に引き、2回拍手をします。そのまま両手を合わせてお祈りをします。両手をおろして最後に「敬礼」深いお辞儀をします。



pick up!

① シンヤマ 新四国八十八か所

新四国霊場八十八か所は池田町シンヤマにある。文政3年（1820）真鍋権次郎を中心として信仰の厚い、真鍋、中村、川崎の三氏が四国八十八か所を巡拝し、その霊場の土を持ち帰る。その間細田、酒井の両氏は山を開き、ご検分を受けてシンヤマにお四国の24番戸、38番足摺、54番今治、85番八栗など、四国のシマをかたどり、また岬のような形にして、霊場を配置して、持ち帰った土をそれぞれの台石の下に埋めて、砂岩の船形に四国何番と刻み、仏像を配し、右に山号・寺号・左に本尊の名を刻み安置し、文政年中に開基したと伝えられる。脇仏168の内23番は十六もあり、弘法大師像が十二とそれぞれに願主名が刻まれ、信仰の厚さを物語っている。巡拝コースの総延長は4.38kmである。



「三好郡の石像文化財」より

② 阿波池田駅周辺食べもん屋マップ

まちあるきに疲れたときに利用できる飲食店やカフェなどをご紹介。QRコードからマップに飛べます！ぜひ、美味しいもので疲れた体を癒し、のんびりしてお帰りください。



みよしジオガイド



池田のまちは大地の成り立ちと深く関わっています。ジオガイドがその成り立ちを教えてくれるジオツアー。池田町の風景に隠された「大地」と「歴史・文化」のつながりを探りましょう！



みよしジオガイド Facebook ページ

【お問合せ先】 三好市観光案内所 TEL: 0883-76-0877
(一社) 三好市観光協会 TEL: 0883-70-5804
〒778-0003 三好市池田町サラダ 1810-18 / 9:00 ~ 18:00 (年末年始を除く)



大歩危・祖谷ナビ

※本ガイドマップは徳島県西部総合県民局「未来へつなぐ・にし阿波観光産業支援事業」により作成しています。

